

報道関係者及び教育関係者 各位

令和3年9月15日

WKC フォーラム 2021  
Global Health High School Summit ～高校生からの姫路宣言～  
開催のお知らせ

2021年10月25日(月)～29日(金)に、世界保健機関(WHO)の第72回西太平洋地域委員会が兵庫県の姫路市で開催されます。日本を含むアジア太平洋地域の各国から保健医療の代表者が集まり、地域の保健医療政策等について議論します。これに合わせてWHO神戸センターは、姫路市、兵庫県と協力し、地元の高校生がグローバルヘルスについて考え、学び、発表する「グローバルヘルス高校生サミット」を10月30日に開催いたします。

フォーラムのテーマは「コロナ禍における学校での健康行動」です。新型コロナウイルス感染症は、全世界で政治経済、地域社会に大きな影響を与えています。学校もその例外ではなく、パンデミックにおける学校や若年層の保健課題が明らかになっています。本サミットでは兵庫県姫路市を中心に関西圏の7つの高校の有志チームが「学校と生徒のメンタルヘルス」「学校でのCOVID-19対策」「若年層のヘルス・コミュニケーション」「家庭内隔離による生徒の社会問題」の4つのテーマについて、関西圏の国公立大学の専門家アドバイザーに指導を受けながら、自ら課題を研究し、専門家や一般の聴衆、学生たちに向けて発表します。サミットの最後にはそれぞれの発表内容を「姫路高校生宣言」としてまとめ、姫路市や兵庫県、WHO西太平洋地域の代表者に提出して、高校生の声を姫路から地域、世界に届ける予定です。本サミットを通じて、現在の危機を乗り越え、未来の危機に備えるために、若年層を含むすべての人が当事者意識をもって問題に取り組むための後押しとなることが期待されます。

## 【フォーラム概要】

- 日時：令和3年10月30日(土) 10:00～12:30 \*プログラムの詳細に関しては近日中に公開予定
- 会場：アクリエひめじ (URL: <https://www.himeji-ccc.jp/>)  
\*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一般の方への参加方法は、オンライン配信にて実施。
- オンライン配信参加方法：下記URLより、事前にお申し込み下さい。(\*先着順、最大200名まで)  
<https://ez-entry.jp/wkcforum2021/entry/>
- 主催：WHO健康開発総合研究センター (WHO神戸センター)

WKC フォーラム 2021 Global Health High School Summit ～高校生からの姫路宣言～				
全体 テーマ	コロナ禍における学校での健康行動			
発表 テーマ	A) 学校と生徒の メンタルヘルス	B) 学校での COVID-19 対策	C) 若年層のヘルス・コミ ュニケーション	D) 家庭内隔離による 生徒の社会問題
高校名	兵庫県立姫路西高校 兵庫県立兵庫高校	関西学院千里国際高等部 兵庫県立長田高校	神戸市立葺合高校 兵庫県立姫路飾西高校	姫路女学院高校

## 【高校生が取り組むアイデア】

### A) 学校と生徒のメンタルヘルス

#### ■キャッチコピー：手紙交換こそが友情の鍵

SNS などの使い過ぎが、ストレス適応能力「レジリエンス」を下げると言われている。レジリエンスをあげるために、手紙を活用し、深くて良好な友人関係を持てるような仕組みを考案する。

#### ■キャッチコピー：かんたん！メンタルヘルスチェックで生徒を守ろう！

コロナ禍で若者のうつや自殺が増加していると言われている。学校の保健室など相談できる場所はあるものの、周囲の目が気になり行きにくい。学校で「メンタルヘルスチェック」を行い、メンタル不調がある人が保健室に相談に行きやすい仕組みを考案する。

### B) 学校での COVID-19 対策

#### ■キャッチコピー：コロナ禍を生きる私たちの部活動ガイドライン

高校生が集団感染するリスクが最も高いとされる部活動では、適切な感染対策が求められている。各部活動の部長を集めた対策会議を発足し、コロナ感染対策ガイドラインを作成し部活動全体での感染対策を強化する。

#### ■キャッチコピー：やらされる手洗いから、したくなる手洗いへ！

手指消毒の適切な実施はコロナ感染対策における最重要項目の一つである。学校内でハザードマップを作成し、「仕掛け学」を取り入れた消毒装置を作成・設置し、啓発を行うことで手指消毒を励行する。

### C) 若年層のヘルス・コミュニケーション

#### ■キャッチコピー：“Access Accurate Advice” 「見極めよ！あなたを守る情報を」

事実確認ができない情報が SNS 上で広がる中、高校生は信憑性の高い情報を得る機会が少ない。そこで情報の真偽を見極めるためのモデル授業を実施し、正しい知識を自ら得るためのスキルを磨く。

#### ■キャッチコピー：What's infodemic? ～情報との正しい向き合い方～

今や高校生にとって重要な情報源であるインターネットは人々を惑わせるデマ情報に溢れている。私たちは高校生を対象としたアンケートに基づき、新型コロナウイルス関連の情報と正しく向き合うために校内でアクションを起こす。

### D) 家庭内隔離による生徒の社会問題

#### ■キャッチコピー：高校生が考える！「子供の貧困」のソリューション！

コロナ禍での家庭内隔離で、食費等の家庭負担が増加することによって、子供の貧困問題が顕在化している。相対的貧困にある子供を支援するために、フードバンクをはじめ、学習教材の無料提供や無料塾などを活用し、隔離化におけるより良い家庭環境について提案する。

【本プレスリリース・取材に関する問合せ先】

WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）

担当: 茅野

E-mail : [wkcforum\\_press@issjp.com](mailto:wkcforum_press@issjp.com) TEL: 078-230-3100

【プログラム、フォーラム全般に関する問合せ先】

WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）

担当: 茅野

E-mail : [wkcforum\\_info@issbiz.jp](mailto:wkcforum_info@issbiz.jp)

\*現在、WHO 神戸センターでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い在宅勤務を実施しております。そのため、電話でのお問い合わせには対応できない場合がございます。ご連絡の際はメールでのご連絡をお願いいたします。ご迷惑をおかけしますが、予めご理解くださいますよう、お願い申し上げます。